

第3回 4月9日 (木) 19:00 -

---

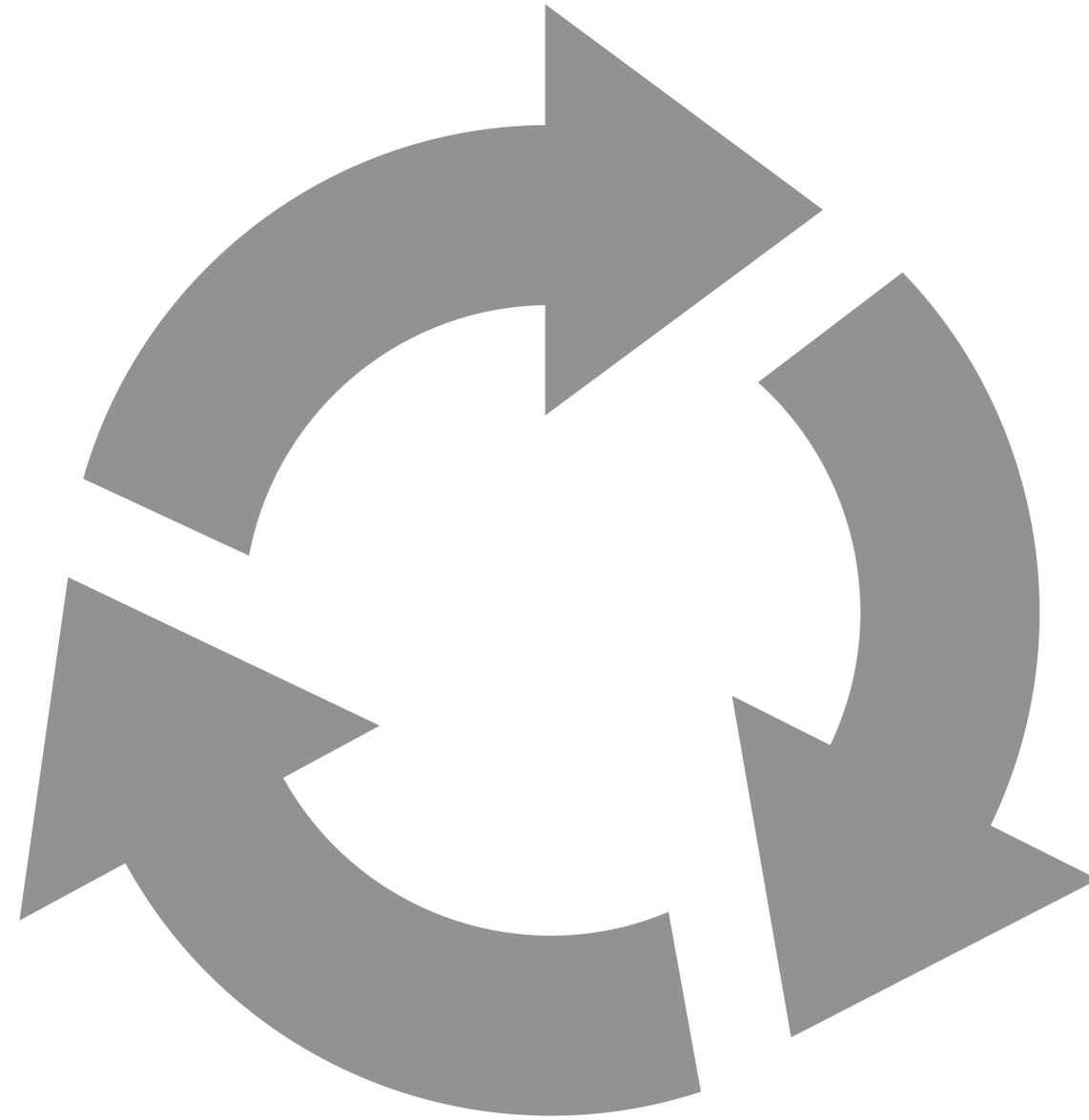
# ギーク・エコノミア

循環型社会を展望する

沖山誠 (きょん)

# サーキュラーエコノミーとはなにか

「循環型経済」と呼ばれる新しい経済システム



より具体的に特徴を見ていく

# サーキュラーエコノミーの特徴

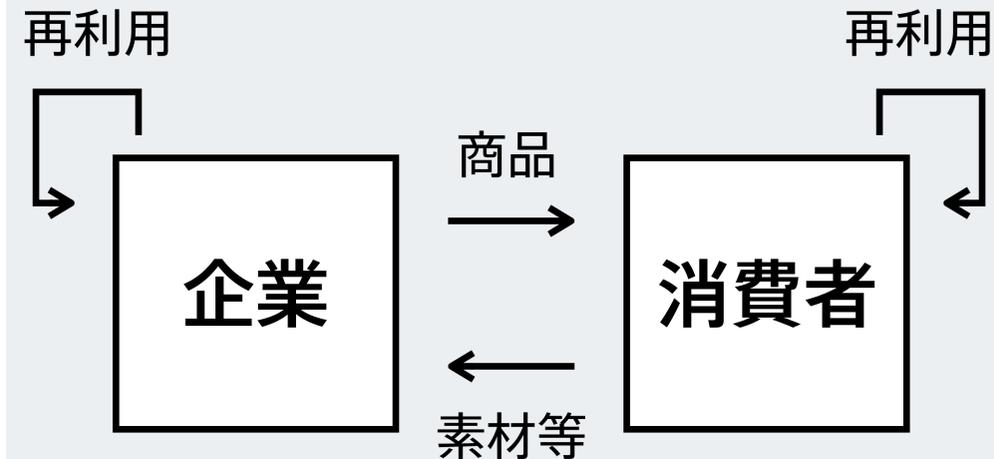
## エレン・マッカーサー財団による3原則

### ① 自然のシステムを再生



有限な資源ストックを制御し、再生可能な資源フローの中で収支を合わせることにより、自然資本を保存・増加させる

### ② 製品と原材料を捨てずに使い続ける



技術面、生物面の両方において製品や部品、素材を常に最大限に利用可能な範囲で循環させることで資源からの生産を最適化する

### ③ ゴミ・汚染を出さない設計



負の外部性を明らかにし、排除する設計にすることによってシステムの効率性を高める

サーキュラーエコノミーは従来の経済とどう違うのか？

# 従来の経済との違い

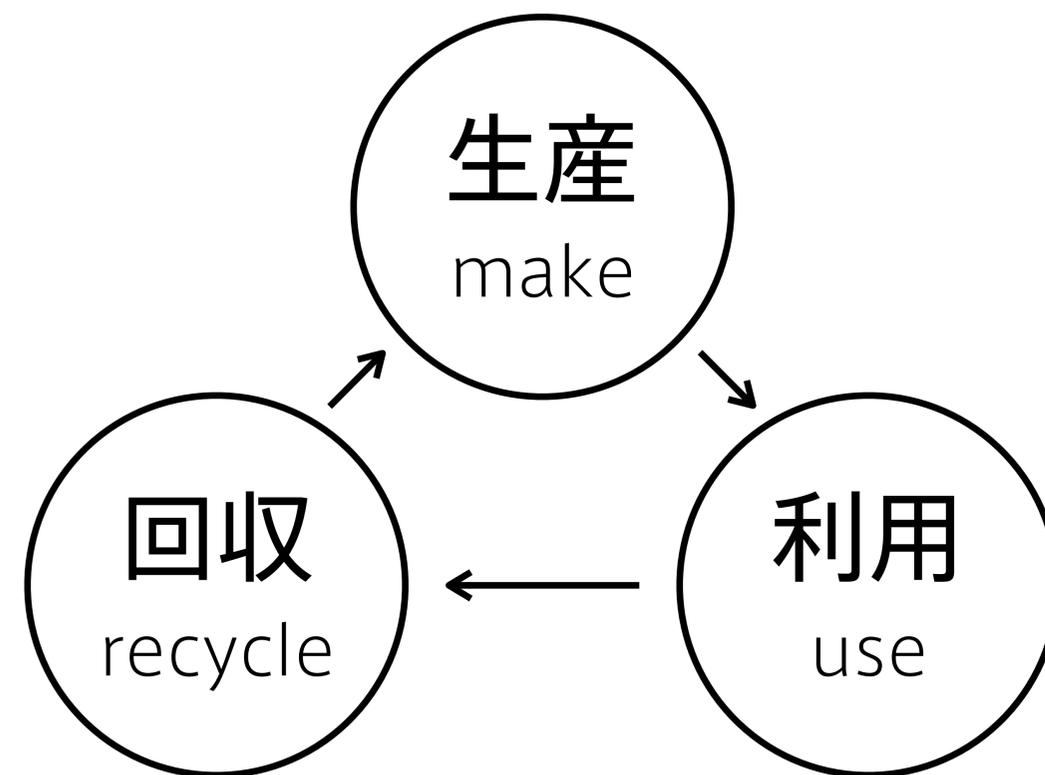
これまで廃棄されていた製品や原材料を資源と捉えること

## リニアエコノミー



直線型経済。環境から採取した資源は生産以後に回収されず廃棄される

## サーキュラーエコノミー



循環型経済。環境から採取する資源は回収することが前提で、破棄ゼロを目指す

このサーキュラーエコノミーは欧州を中心に注目されている

# サーキュラーエコノミーに対する注目

## サーキュラー・エコノミー・パッケージ

2015年にEUが採択した新政策。ヨーロッパ経済を循環型経済システムへと移行することで、国際競争力の向上、持続可能な経済成長、新規雇用創出などを目指し、EU共通の枠組みを構築する。

↓ 具体的な中身

- **循環型経済実現のための資金支援**

欧構造化基金（ESIF）から5.5億ユーロ、Horizon2020から6.5億ユーロ

- **具体的な目標の設定**

2030年までに都市廃棄物の65%、包装廃棄物の75%をリサイクルし、全種類の埋め立て廃棄物を最大10%削減する

- **想定経済効果の算出**

欧州企業での6,000億ユーロの節約、58万人の雇用の創出

・・・etc

ではなぜここまで注目されるのか？

# サーキュラーエコノミーがなぜ注目されるのか

大きく3つの理由がある

## 環境

既存経済モデルの  
持続可能性の限界

## 経済

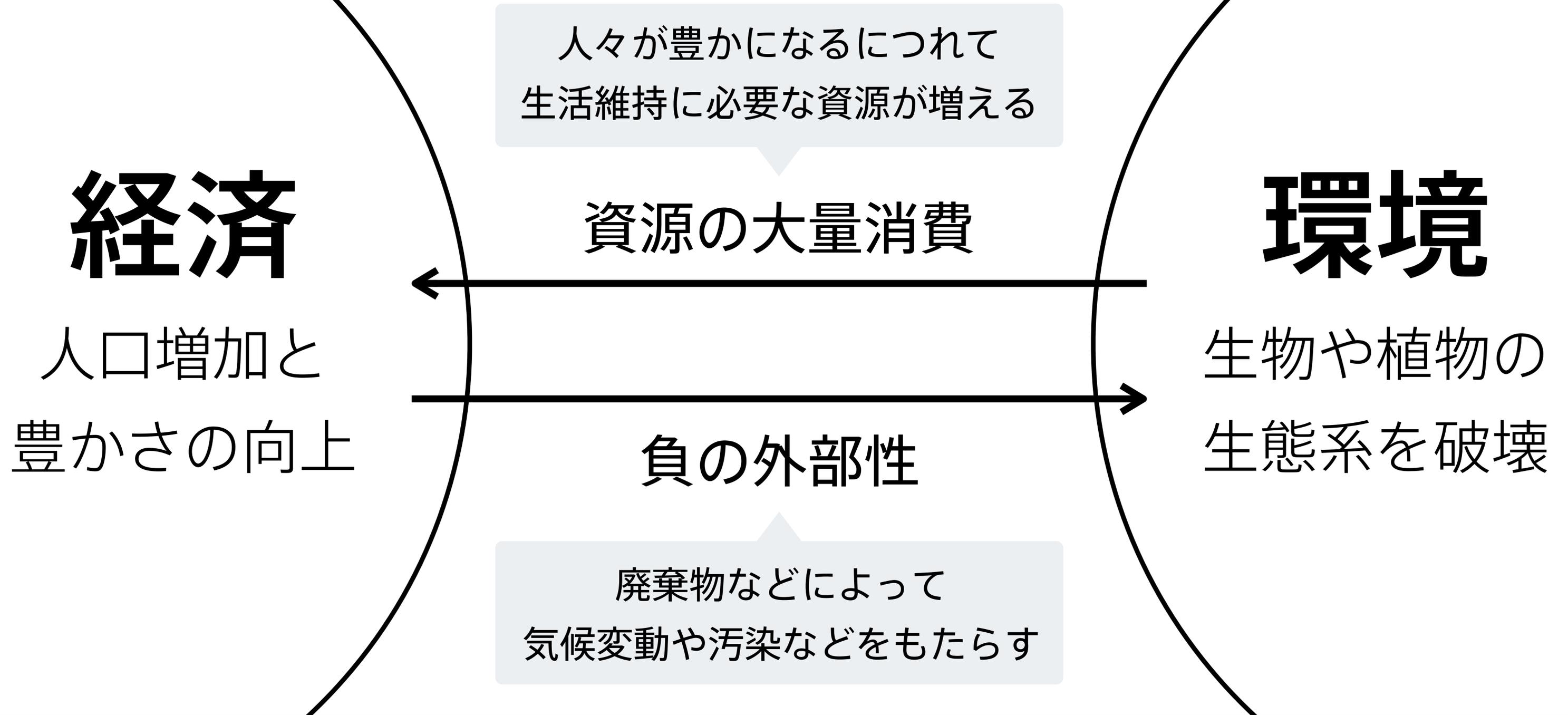
環境負荷軽減と  
経済成長の両立

## 企業

企業の競争力の  
源泉としての可能性

それぞれ解説していく

# 既存経済モデルの持続可能性の限界



このままの経済の仕組みでは持続可能な発展は不可能

# 環境負荷軽減と経済成長の両立

経済価値を犠牲にしなくても取り組める

サーキュラーエコノミーに移行する経済効果は

2030年までに

4.5兆ドル

2050年までに

25兆ドル



欧州委が2019年3月に公表した実施状況報告書によると

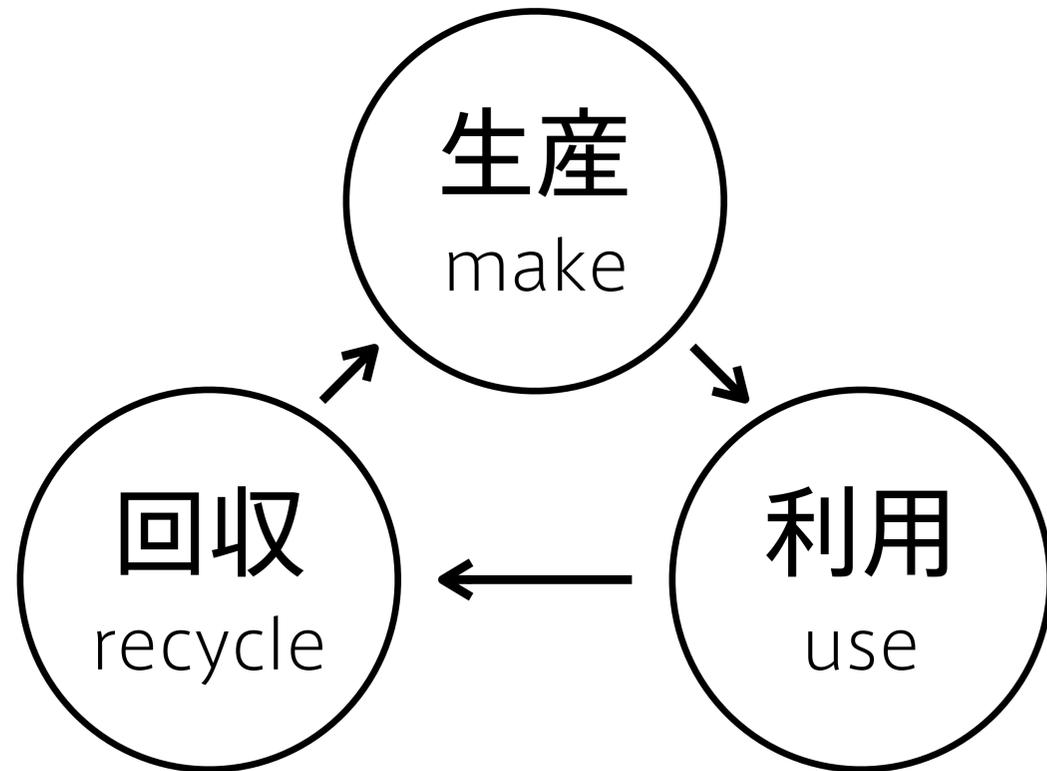
欧州では2012～2016年までのサーキュラーエコノミー移行のための各施策により

**400万人強に相当する雇用が創出された**

# 企業の競争力の源泉としての可能性

## オープンイノベーションの推進

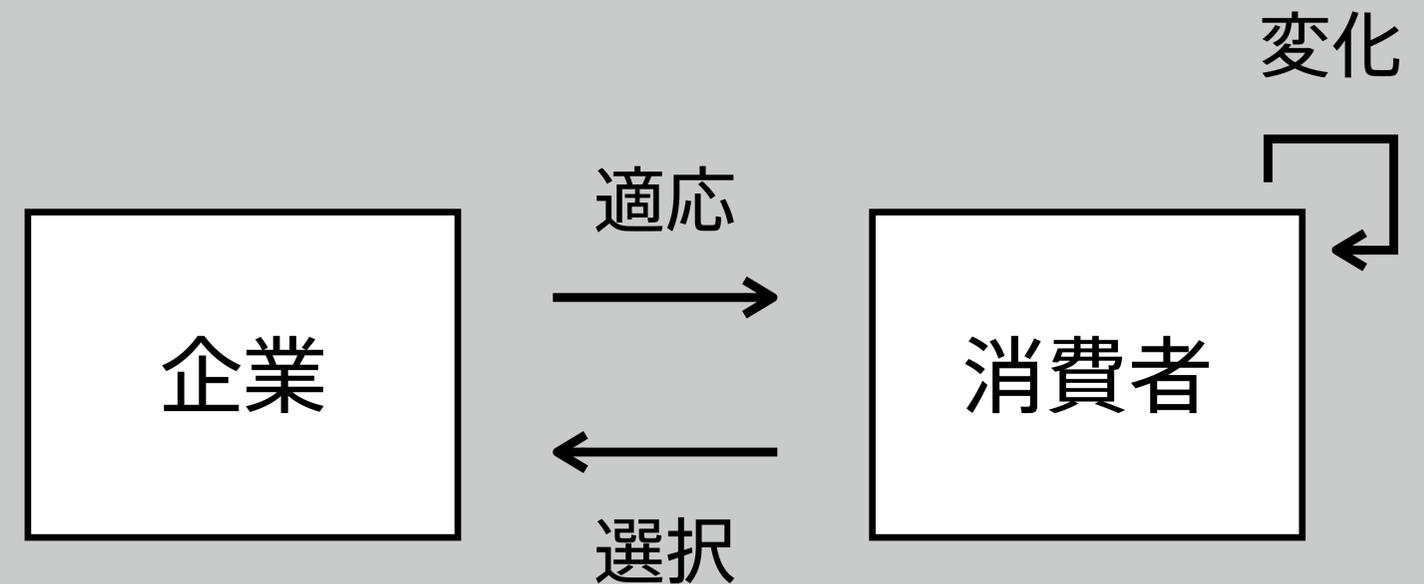
サーキュラーエコノミーの実現には、業界や立場を超えたあらゆる人々の協働が必要不可欠



様々な異業種・異分野連携が生まれ、オープンイノベーションにつながる事が期待されている

## 消費者の需要変化への適応

サーキュラーエコノミーという言葉が浸透するにつれ、消費者の行動が変化し、需要も変化する



消費者の変化に対応するためにもサーキュラーエコノミーを推進することが大事になっている

以上